

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
feel西明石(児童発達支援)		2026年 2月 25日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	ガイドラインに沿った支援室を使用し、活動を行っています。その日ご利用されるお子さまに合わせて教材の準備や環境調整を行っています。	引き続き、必要に応じて部屋の戸を閉めたり、パーティションで区切ったりと個別療育時に集中しやすい環境やクールダウンできる場所を整えていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	こどもの状態に応じて、個別対応を行うことができるよう、余裕を持った人員配置を行っています。	その日のお子さまの様子や支援ニーズに対応できるよう、職員間での情報共有を密に行い、状況に応じた人員配置に迅速に対応できる体制を整えてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83.3%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんへの分かりやすい支援として、特性に応じて、絵カード等の視覚支援やICT（パソコン・タブレット）の活用、スケジュール化等を行っています。 ・おやつを選ぶ時には操作できるレプリカの硬貨を活用したり、体調や気分を指差して表現できるようにパロメーターの表を掲示するなどの視覚支援を行っています。 ・課題の後にごほうびのシールやお子さんの好きな玩具等を準備することで、達成感を感じていただけるよう工夫しています。 ・プログラム活動時に、見通しが持てるように事前予告の声かけを行ったり、タイマーを使用して切り替えのタイミングをわかりやすくしたりしています。また、定期的にタイマーを鳴らすことで、こまめに水分補給を促すことができ感度予防につながっています。 ・玩具の棚は片付けやすいように写真を貼って、どこへ片付けるかお子さんにとって分かりやすくしています。 	引き続き、お子さまに分かりやすいような視覚支援や環境調整を行ってまいります。日々のミーティングで気づいたことをすぐに取り入れれたり、新しいことも取り入れたりできるような意見を言いやすい雰囲気づくりにも努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	<p>毎日療育終了後に部屋の清掃、玩具の整理、アルコール除菌等を行い、清潔で過ごしやすい環境を整えることを心掛けております。</p> <p>熱中症や脱水を起さないように、一年を通して活動の合間にお子さんに水分補給を促しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、感染症予防のために一年を通して常時換気をしています（猛暑日等は30分に一度換気）。 ・おやつのはきは使うたびにアルコール除菌を行ったり、よく使うものや触るもの(ドアノブなど)に毎日アルコール消毒をしたりしています。また、おやつ前とおやつ後は手洗い、アルコール消毒を徹底しています。 ・加湿器を置き、風邪やウイルス感染の予防につなげています。 ・毎日療育後は午前・午後ともに掃除機とアルコールでの床拭きによる清掃を行い、教材や玩具のアルコール消毒をおこなっております。 	今後も継続してまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	必要に応じて部屋の戸を閉めたり、パーティションで区切ったりと個別療育時に集中しやすい環境やクールダウン出来る場所を整えていますが、必要のない時は広い空間で過ごせるように配慮しております。	現在の環境を活かしつつ、個別対応やクールダウンの必要性をよりの確に判断できるよう、職員間の共通理解を深め、環境の活用方法について継続的に見直して参ります。
6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	毎日、職員間での情報共有、目標や行動、プログラムの振り返りを行っています。また月に一回所長会議、管理職会議をする中で現場の声を大切にしながら働きやすい業務改善を考え取り入れ、次回の会議で振り返り今後の課題や対応を話し合っています。	今後も継続してまいります。	
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者の方からいただいたご意見は、日々のミーティングにて共有し、より良い支援や環境づくりの為に話し合いや改善を行っております。	今後も継続してまいります。	

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎日のミーティングで気になったことやプログラムの振り返りを行っています。より良い支援に繋げるための環境調整やプログラムなどについて意見交換を行い、ミーティングで決まったことをすぐに取り入れるようにしています。	今後も、日頃から気になったことを相談しやすく、意見を伝えやすい関係づくりに取り組んでいきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	あかし療育鑑鑑などの市の取り組みに参加し、外部からの評価を得た上で業務改善に反映できるように努めています。	第三者による外部評価の導入について検討を進めるとともに、実施した際には評価結果を職員間で共有し、業務改善につなげられる体制づくりを進めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	年10回以上の内部研修やチームビルディングを実施したり、職員の興味関心に合わせて業務時間中に外部研修を受講する機会を設けたりすることで職員の資質の向上に努めています。	今後は研修内容の共有や振り返りの機会を充実させ、職員間で学びを共有しながら実践に活かすことで、組織全体の支援力向上を図って参ります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	作成の上、HPにて公開しています。普段の療育の内容については連絡アプリやInstagram等で発信をしています。	今後も継続していきます。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	発達検査やS-M社会能力検査、行動観察からアセスメントを行い、お父さまや保護者のニーズを反映した支援計画を作成しています。	今後も継続していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	支援に関わるスタッフで会議を行い、気になった点やうまく行った支援方法など情報を共有し、保護者の方の願いに即してお父さま一人一人に合った支援計画を作成しております。	今後も継続していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	保護者との会議の後、ミーティングで支援計画を周知し、個別ファイルに支援計画やねがいを書くことで支援計画に沿った支援ができるよう留意しています。	今後も継続していきます。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	必要や保護者の希望に応じて新版K式発達検査2020やWISC知能検査、S-M社会生活能力検査を実施したり、普段の様子について毎日のミーティングで振り返ったりすることで多面的にお父さまの状況を理解できるようにしています。	今後、標準化されたアセスメントツールの導入や活用方法について検討し、日々の行動観察や記録と組み合わせることで、子どもの適応行動の状況を継続的に確認できる体制を整えていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	モニタリングやアセスメント会議でガイドラインの内容を参照しながら支援計画の作成し、保護者の意向やお父さまの発達段階に応じた目標や支援内容を設定しています。	児童発達支援計画について、作成後の振り返りや見直しを行い、ガイドラインの4領域が適切に反映されているかを確認したうえで、支援内容の充実につなげていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	SST・制作・運動のプログラムは数名のスタッフで順番に立案しています。立案したものを実際に支援員がしてみたり、ミーティングの中で協議したりしています。また他事業所とも共有することで様々なアイデアを取り入れ固定化しないように努めています。	今後も継続していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	週ごと・月ごとにプログラムを見直ししながら、ことばリズム遊び、運動、SST、制作活動を行っています。また、月ごとにクッキングや公園遊び、スライム作り等のイベントを実施しています。さらに、季節に応じてお花見やプール遊び、秋祭り等、楽しく参加できる活動を企画しています。	今後も活動後の振り返りを行うと共に、お子様の興味関心や成長に合わせたプログラム改善を継続的に行って参ります。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お父さまの理解度や興味のあることなどを取り入れたり、本人・保護者さまからのニーズをお聞きしたりしながら内容を考えます。また計画したプログラムでもその日の子どもの様子に合わせて柔軟にアレンジして参加しやすくしています。	今後も継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	新しいプログラムが始まる時は各プログラムの教示方法や注意点についてスタッフでロールプレーをしたり話し合いをしたりして、プログラムのイメージがしやすいように工夫しています。個別療育で使う席の配置や小集団活動でのプログラムの役割分担についてはその日その日の子どもたちの様子で事前に話し合い決めております。	今後は事前打合せに加え、振り返りや記録の活用を通して職員間の連携をさらに強化し、チームとして一貫性のある支援を継続して参ります。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援終了後に毎日ミーティングを行い、その日のお父さまの様子や小集団での取り組みについてチェックリストや実施記録表を活用しながら、スタッフ間での共有を行っています。	今後も継続していきます。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々のお父さまの様子については連絡帳に記載し、その日の状況や共有事項についてはミーティングで共有するとともに、今後の支援の方向性について話し合いを行っています。また、参加していない職員も把握できるように議事録に残しています。	今後も継続していきます。	

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	ミーティングで計画を見直し、必要に応じて関係機関と連携しながら、1~6か月ごとにモニタリングを行っています。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日程調整ができた時には、児童発達支援管理責任者、個別担当が出席し、情報共有や役割分担について話し合っています。 また定期的に相談支援事業所との話し合いや書面のやり取りも実施しております。	引き続き、担当以外のスタッフもお子さまの様子を把握できるよう、ミーティングでの情報共有や日々の連携を大切にして参ります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	保護者のご希望があれば保育所等訪問支援へ繋げたり、関係機関連携などを実施したりすることで、連携して支援を行う体制を整えています。	今後も継続していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	保育所等での生活を中心に考え、無理のないように利用することができるように案内をしています。保護者のご希望があれば支援内容について情報共有を行ったり、検査の結果についての説明を保育所等へ伝えたりして相互理解を図ることができるように働きかけています。	今後も継続していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	保護者のご希望があれば療育での様子をまとめたものを作成し、共有を行っています。	今後も継続していきます。
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	子ども部会等へ参加することで、児童発達支援センターとの関係性作りに努めています。また必要に応じて、お子さまの様子について情報共有を行っています。	今後、地域の児童発達支援センターとの連携方法を整理し、相談や助言を依頼できる窓口や機会を明確にすることで、支援の質の向上につなげていきます。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	今年度も秋祭りを開催し、近隣に住んでいるお子さまやご家庭を招待することで交流の機会を設けることができました。また、お散歩や公園遊びでは地域の方へ挨拶をしたり、ルールを守りながら遊んだりする機会を設けています。	今後は地域とのつながりをさらに広げながら、お子さまが安心して地域の方と関わる経験を積めるよう、交流の機会や内容の充実を図って参ります。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	個別療育での状況や課題はHUGの連絡帳に記入してお伝えしております。保護者の方から質問などがある場合は連絡帳に記入したりお時間をいただきお話しさせていただきますいております。	今後も継続していきます。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	保護者向けに学期ごとに1回、年度内計3回のペアレントトレーニングの研修をさせていただくことで将来を考えるきっかけになったり、保育所などの関係機関との話し合いの仕方などを学んだりする機会に繋がるようにしています。 またペアレントトレーニング当日のご参加が難しい保護者の方でも話が聞けるように、後日YouTubeでの配信も行っております。	今後も継続していきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	最初の契約時に、支援計画の説明、利用者負担等についてご説明させていただいています。変更があった際には、その都度ご説明させていただき、同意を得ています。	運営規程や支援プログラム、利用者負担等について、契約時に分かりやすく説明できるように説明内容や資料を整理し、保護者さまの理解を確認しながら説明を行う体制を整えています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	児童発達支援計画を作成する際には、アセスメントシートに基づきお子さまと保護者の方の願いを取り入れ作成しております。年に2回の面談時に支援計画の説明と確認お話をする機会を設けております。	今後も継続していきます。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	契約の際や支援計画の更新の際に必ず面談を実施し、支援計画について同意を得た後、支援を行うようにしています。	今後も継続していきます。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	家庭での困り事について、ご希望に応じて、カウンセリング等（家族支援、子育てサポート・関係機関連携用）を月一回程度継続して行い、療育内で上手くいった取り組みや工夫、本児が興味を持ったものについてご家庭でもご利用いただけるように共有させていただいております。	今後も継続していきます。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	保護者研修後に保護者交流会を実施したり、学期ごとにレジン制作やくすみボタン作りといった保護者向けのイベントを開催したりすることで、保護者同士の交流の機会を設けています。また、今年度も秋祭りを行うことで、きょうだいも参加できるイベントを開催しました。	今後も継続していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	ご利用いただいているお父さまのことだけでなく、きょうだいのことや地域のお父さまのことも含めて相談の申し込みがあった際には受け入れ、関係機関を案内できるように努めています。	今後も継続していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	今年度からはHUGの連絡帳にお父さまのお写真を添付することでより詳しいご様子をご覧いただけるよう工夫しております。また、定期的にブログやInstagram、Facebookで活動の概要や行事の様子を発信しております。	今後も継続していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	契約時の個人情報についてのアンケートをもとに玄関やブログの掲示を考えたり、個人情報（鍵付きの書庫）に片付けたりしています。また情報提供に関しては提供して下さったご家族の方の承諾を得てから他の方にお伝えしていきます。スタッフとの雇用契約時に個人情報の秘密保持を厳守しています。	今後も継続していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	お父さまや保護者の方とお話をする時には、口頭だけではなく、メモやメール等で見て分かる形にしています。また特性に応じて大事な話を先にしたり、何回かに分けて伝えたり1対1でゆっくり話が出来る時間を設けたりしています。ご希望に応じてカウンセリングを行ったり、日々の連絡帳の中でうまく行った取り組みや工夫、本児が興味を持ったものについて共有を行っています。	今後も継続していきます。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	コープ西明石の地域交流会や3ヶ月に一度和坂小学校で開催されている和坂マルシェに子育て相談ブースを作っていただき地域の方との交流できる機会を実施することができました。また、今年度もご利用者様や地域の方々も参加できる秋祭りを開催することもできました。	今後も継続していきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	緊急時の対応については契約時に説明し、防犯についてはSSTの中で不審者対応を行ったりしています。感染症についてはマニュアルにもとづいて対応を考えており職員間で役割を決め消毒などの確認を毎月行っております。また各マニュアルはどなた様にも閲覧・確認して頂けるよう、ホームページに掲載しています。 https://cocotoko.com/nursing	今後も継続していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	年に1回以上は、スタッフに業務継続計画の研修と周知を行っています。また、学期ごとにSSTの中で避難訓練（火事・地震・不審者など）も取り組んでおります。活動後はホームページにもアップしております。	今後も継続していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	服薬やてんかん発作等があり、指示書が必要な方には記載していただき薬はすぐに対応できるよう個別ファイルに保管しております。また、職員間で共有しリスト化して提示しています。	見落とし防止のため、必ず目に留まる場所に注意喚起の表示や目印を設け、周知の徹底に努めて参ります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	食物アレルギーがあり、指示書が必要な方には記載していただいております。また、職員間で共有しリスト化して提示しています。	今後も継続していきます。
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	地震・不審者・水害・てんかん発作等への対応と順番に訓練を実施し、避難バックの中に水やお菓子の備蓄をしています。緊急で薬が必要な方は個人ファイルに保管しています。	今後も継続していきます。	
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	重要事項説明書について説明することで安全計画への取り組みを周知したり、研修実施後にブログやInstagramにて研修内容の報告を行ったりしています。また、加入している保険等についても契約時に伝えています。	今後も継続していきます。	

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	お子さまの安全に関係する事等、ミーティングで話し合った後に、ヒヤリハットを作成し、対応策を考えています。またその日欠勤の職員にも伝わるようパソコン内にヒヤリハットのフォルダをつくりすぐに閲覧できるようにしています。また他事業所にも共有することで事業所内だけでなく他のお子さまの安全にもつながる様に努めています。	今後も継続していきます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	年に1回以上は、スタッフに虐待防止研修を行っています。また虐待についての外部研修にも参加しております。また年に2回虐待委員会で話し合いを行っております。	今後も継続していきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	半年に一回保護者の方とお話をさせていただき、ご署名をいただいています。また年に2回会議の場を設けて身体拘束が必要か等、職員の話し合いもおこなっています。	今後も継続していきます。